

冬ノ七表

ひはこれにまさる事のみこそあらんずれ
とてそこよりはなれにけりまことに此

人の心にはうつともものともくるしみと

思ふまじ杖木瓦石へじやうぼくあうせきを忍へしのぶをもてこそ道へだう
心へだうしんのほいといふ事なるを又いやしき

ものゝ心には在俗へぎいぞくの時弓箭へゆみや金は金銀へきん／＼をも
ちてちりばめ衣裳へいしやうは綾羅へれうらをもつてか

さり多騎へたきのつはものゝ中へも一人かけ

らん事を思ひ出仕へしゆつしの時は家のうちに